

# 富永小学校からの報告

活動団体名： 富永小学校 4年生

活動人数： 13人（教員2名）

取組時間：総合的な学習の時間

**調査内容** 1回目：6月13日（月）富永小学校西側の川 晴れ 2回目：7月8日（金）井口字内の水路 晴れ

富永小学校では、「みずすまし」として、総合的な学習の時間に水生生物調査を行いました。やまのこ学習で高山キャンプ場横の草野川を、学区では学校裏の川と字内の川の様子を調査しました。魚取り網やバケツ・ざる等を子どもたちが持ち、グループに分かれて川に入り水生生物を採取したり、COD値の測定をしたりしました。

導員の先生に道具の使い方や指標生物について、水生生物のいる場所などを教えていただきながら計2回の調査を行いました。やまのこ学習でも水生生物調査をしていたことで道具の使い方に慣れており、水生生物が潜んでいる場所を予測して探すこともできました。調査では、回を重ねるごとに慣れた様子で、大きな石をひっくり返しながら網に水生生物を入れる姿や、草の生い茂ったところに網を突っ込みガサガサと楽しそうに探す姿を見ることができました。また、捕れた水生生物を仲間分けする時は、配布された下敷きを（図鑑）見ながら、「これはどれかな？」と特徴をとらえて、分類を進める姿もありました。



## 調査員の感想

- ・川の流れ方や深さ、水の綺麗さで棲んでいる生物が違いました。
- ・川の水は山から来ていて、山の水は綺麗なことが分かりました。
- ・井口の川は汚いと分かったので、ちょっと残念です。
- ・ヘビトンボが一匹いて、きれいな水と分かったので良かったです。
- ・家の近くや、川のことについてたくさん知りたいと思いました。

## 捕まえた生き物たち

ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ類、ガガンボ類、サワガニ、トビケラ類、カゲロウ類、シジミ類、カワニナ、イトミミズ、ナベブタムシ、ヤゴ、ヌマエビ、ゲンジボタル、マツカサガイ、アブラボテ、ドジョウ、サナエトンボ、ドンコ

## 調査のまとめ

調査では、草野川と、富永学区の川でとれた水生生物を比べ、上流の草野川の水が富永学区の川の水よりも綺麗なことに気付くことができました。特にヒラタカゲロウ類やヘビトンボ類、ガガンボ類など綺麗な水にしか棲んでいない水生生物が草野川には生息しているが学区内にはいないなど、指標生物を意識しながら仲間分けをすることで、水の綺麗さについて学習することができました。また、自分の住んでいる近くの川に興味を持ち比較することで、人が住む場所に近づくと川の水が汚くなることなどに気が付き、自分の住んでいる近くの川の環境にも目を向けることができ、川の水を汚さないようにすることの大切さを見直すきっかけにもなりました。





# 活動の様子

【やまのこ 指標生物について学ぶ】



【学区内 図鑑を見ながら調査】



【学区内 網でガサガサ】



【学校裏 COD 値の測定】



【学校裏 ざるで採集】



【学校裏 水生生物の分類】



【草野川 水生生物採取】

【草野川 水生生物仲間分け】

